

△遠江、内藤氏。下總山上氏へ、興味多き御寄稿なりしも、長文にて掲載いたし兼候につき、他日機會ある迄御預り申置候。

△足利、河合氏へ御作結構なりしが、調子弱きたり、寫眞不成功に終り候は残念に候。

△京都、千君へ、最初御寫生と申もの拜見候。遠法の間違其曲整はぬ點あまりに多く候。靜物寫生を充分勉強あり度、戸外なれば鳥居とか枯木とか幹とか可成平易なるも、を寫しなざるべし候。

△垂虹生へなるべく御意見に副ふべく候。△みどり生へ、御忠告ありがたく候。繪業書挿し色は見本をとざりし爲めの失敗、猶送本については精々注意可致候。

△松山、何兵衛氏へ、御厚意ありがたく存候。

△なにがし氏へ、何處で御求になつても愛讀者には相違なく候へ共小賣店への卸價は割引有之候に付御察し被下度候。

**新刊**

(九月二十日迄の寄題を受けし分)

- 英學生 二ノ九、十 東西社
  - ハガキ文學 二ノ十三 日本葉書會
  - 美術新報 四ノ十、十一 畫報社
  - 文庫 廿九ノ五六 内外出版協會
  - 中學文林 一ノ一 同
- 文庫の弟分なれど稚氣なく記事豊富、却て兄さんより面白し。

●家庭の友 三ノ六

●向上主義 十一、十二

●白百合 二ノ十一

●彼蒼 一ノ三

●時好 三ノ九

●國民評論 七

●心の花 八ノ五

●歌の伎 九ノ九

●能樂 六十五

●音樂新報 三ノ九

●手紙雜誌 二ノ七

●平旦 二ノ五

●卯杖 三ノ九

●新潮 三ノ三

●新獵 一ノ十

●廣告新聞 一

●歴史地理 七

●花かたみ 六枚一組三十錢

●松聲堂

●六枚一組三十錢 同

●何れも本多程堂氏の筆になれる繪業書にして、前者は濃艶、後者は淡雅各其方面に氏の才筆を見るべし

**會告**

●學校又は同志の間に、寫生會、エハガキ等の設けあるものは、其景況をなるべく詳しく通報せられたし

●前項團體及び個人の作品の現物、若くは

●同友社

●久友社

●東京純文社

●一圓正城氏

●三越英服店

●國民評論社

●樂友社

●竹拍會出版部

●歌舞伎發行所

●能樂館

●音樂新報社

●有樂社

●平旦社

●秋聲會出版部

●新潮社

●新獵社

●金丸銃砲店

●文友社

●日本歴史地理研究會

●松聲堂

●日本歴史地理研究會

寫眞を寄贈せらるれば、優秀なるものに限り、寫眞版に付して、本誌に登載すべし但作品ははがき大に限る

●左の事項につき廣く投書を求む

□水彩畫に志せし最初の動機

□始めて戸外寫生を試みし時の感

□寫生中に起りし興味ある出來事

□畫を學びし爲めに得たる顯著なる利益

□其他水彩畫に關する意見報導小品文等

●以上切の期を定めず、半紙十行二十字詰にて、簡単に、字體明瞭に認められたし

●繪畫及寄稿にして、本誌に登載せしものには、主任大下藤次郎の内筆繪業書一葉を贈るべし

●投稿の返戻を望まるゝ方は、相當の郵券を添へられたし

●水彩畫に關する質問にして、一般讀者に有益と認むるものは、答へを紙上に掲載すべし、但初めより返信料を添へられしものは直ちに答書を送るべし

●眞野紀太郎氏は、遠近法に關する質問に答へらるべし。

●但複雑なる圖説を要するものは此限りにあらず